Heartening English Communication Ⅲ［212桐原 CⅢ 720］観点別　教科書の特色

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容の特色 |
| (1) 内容の選択・程度  ・学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材の用意 | ・本課（Lesson 1～10）では、高校生の興味・関心に合致する文化的な話題、科学的な話題、社会的な話題をバランスよく扱っている。Listeningの素材として会話・講演・インタビュー・ニュース・ディベート、Readingの素材として記録文・説明文・論証文・意見文といったさまざまな形式が用いられている。  ・Reading & Writing Strategy 1～9では、まとまった文章を読んだり書いたりする際に必須の方略を体系的に扱うことができる。  ・Real Life English 1～4では、日常の場面で聞いたり読んだりする英語を学習することができる。  ・Readingの課では文学作品が扱われ、豊かな情操を培うことができる。 |
| (2) 構成・分量  ・学習指導を有効に進めるための構成・分量 | ・課数、ページ数が想定単位数での履修に適合している。  ・各課冒頭ページに目標（Objective）が、巻末にCAN-DO Listが掲げられており、生徒に単元の目標や本文を読む目的を明確にさせてから学習に取り組ませることができる。  ・Scene 1: Listeningでは、共通テスト形式の問題演習ができるだけでなく、設問の先読みで内容を推測させたり、発音を分析的に教えたりすることが、紙面の流れに沿ってスムーズにできる。  ・Scene 2: Readingでは、一般入試形式の問題演習ができるだけでなく、キーワードの事前インプット、ディスコースマーカー・論理構造などの確認、サマリーライティングが、紙面の流れに沿ってスムーズにできる。英文はLesson 1～10が易から難へと配列されているため、生徒が無理なく学習を進めることができる。  ・Scene 3: Speakingでは、Listening/Readingの内容をもとに、示された流れに沿ってやり取りをさせたり、与えられた状況設定を踏まえて発表をさせたりすることができる。  ・Scene 4: Writingでは、Speakingで得たアイデアをヒントに、レッスンを通じて考えるべきテーマについて、自分の考えなどを述べるパラグラフやエッセイを書かせることができる。 |
| (3) 表記・表現および指導上の工夫  ・学習意欲を高めるための配慮  ・用語・記号の取り上げかたおよび記述のしかた  ・印刷や製本の配慮 | ・ListeningとReadingの題材は相互補完的な関係となっており、それらの内容を統合することで複数の視点や多様な意見への気づきが得られるようになっている。  ・SpeakingとWritingでは、論理的な話し方や書き方の例を豊富に掲載しており、紙面に印字された例を参照させながら、細かく手順を踏んだ指導がスムーズにできる。  ・Tip for Listeningのコーナーでは発音記号では伝わりづらい音のつながりなどを示すため、カタカナでの発音表記が取り入れられ、生徒が直感的に理解できるよう配慮されている。また、巻末に掲載の新出語は重要語とそうでない単語が区別されているので、語彙指導をしやすい。  ・文字の大きさや書体が教科書として適当であり、図版も鮮明である。  ・紙質、製本とも丈夫であり、耐久性に問題がない。  ・ページを大きく開いたり、紙面へ書き込んだりすることが問題なくできる。 |
| (4) その他  ・(1)～(3)以外の観点  ・総合的な観点 | ・4技能（5領域）ごとにコーナーが分かれており集中的に扱いやすく、それらが共通のテーマで貫かれているので技能統合も実現でき、総合的なコミュニケーション能力を養成するのに適している。  ・Real Life English 1～4やコラムページでイギリス英語が扱われ、生徒が多様な英語に触れることができる。  ・巻末のCAN-DO List TrackerとReading Speed Trackerを使って、生徒ひとりひとりが自分の学習達成度を意識して、主体的に学習に取り組むことができる。  ・QRコードで音声を聞くことができるので、リスニングの自学自習をしやすい。  ・実際の授業を想定した授業展開例や評価基準例などを丁寧に示した指導書、設問やタスクの解答・解説書、充実したワークシートや評価問題、デジタルデータなど、指導用資料が充実している。 |